

プロモーションアドバイザー派遣事例紹介（草津市）

2023年7月に、プロモーションアドバイザーである株式会社コングレを草津市に派遣しましたので、本事例についてご紹介します。

1 概要

日程 : 2023年7月20日（木）

派遣方法 : 現地派遣

派遣者 : 株式会社コングレ 関西 MICE 事業部長 能邨 英 氏

申請者/派遣先 : 草津市

相談内容 : 近年、市内にMICE関連施設がオープンしたことなどにより、官民ともにMICE誘致による観光振興の機運が高まってきているため、効果的な誘致及び経済波及効果の最大化に関して、アドバイザーからの助言を受けたい。

2 派遣内容

はじめに、市内の主なMICE施設3か所を視察し、市担当者から各施設の概要の説明を受けながら、以下のようなMICE誘致におけるポイントについて確認しました。

(例)・土足入室の可否

- ・大きな音出しの可否
- ・施設内飲食の可否及び周辺飲食店の分布状況
- ・周辺地域における普段の交通状況
- ・既存の大型イベント

その後、その他市内施設の概要説明も受け、視察の結果等も踏まえながら、今後これら施設を活用したMICE誘致について議論しました。

アドバイザーからは、以下のような助言を頂きました。

- ・市営施設はクローズド利用が難しく、汎用性も低いため、国内スポーツ大会や合宿以外は難しいかもしれない。国内最大級等の特徴を武器に、毎年開催される大会を誘致できれば、市の知名度にも寄与し定着するだろう。
- ・複数のスポーツ施設が隣接していることは、大きな強みになる。連携してスポーツイベントが誘致できると良い。
- ・補助金等のインセンティブは、誘致において重要。視察だけでも補助金を出している自治体や、縣市両方申請可能な地域もある。ただ、縣市両方申請可能でも、様式が異なると面倒がられるため、連携して実施できると良い。
- ・施設内飲食不可は大きな課題。近隣レストランで食事ができるミールチケットを配布したり、弁当を配布した例もあるが、施設内飲食を可とできるのがベスト。清掃費を上乗せにする等により飲食可能としている施設もある。
- ・オンライン配信が主流となり、近隣にも競合地域が複数ある中で、選ばれる理由が必要。博物館、植物園などの施設（ユニークベニュー）を活用したり、

琵琶湖湖岸エリアを活用したエクスカージョン要素（サイクリング、ジョギング等）の開発を推進してはどうか。

- ・ 市内や近隣の大学やホテル、民間企業が有する施設とも連携できると相乗効果が見込める。



3 草津市からのコメント

派遣後、草津市からは、「短時間の派遣ではあったものの、MICEの誘致や開催に関する基本的な事柄から発展的な事柄まで、本市の実態に即した大変有益なご助言を賜ることができた」等の感想を頂いた。

また今後は、アドバイザーからの助言を参考に、主催者のニーズや本市の特性などを踏まえ、優先順位を付けながら新たな支援内容やユニークベニュー、エクスカージョン等のプランを検討していくとのことでした。

クレアでは引き続き、専門的知見、ノウハウ、経験をもつアドバイザーの派遣を通して、自治体の海外プロモーションを支援してまいりますので、是非お気軽に御相談ください。

(経済交流課 加納)

CLAIR